

**沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要(港湾空港所管)**

開催日及び場所	平成23年4月25日(月) 沖縄総合事務局 2階 共用会議室C	
委 員	委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科)	
対象案件	総件数 件	(備考)
建設 コンサルタント業務 専務	一般競争入札(総合評価落札方式) 公募型プロポーザル方式	件
	簡易公募型プロポーザル方式	件
	簡易公募型に準じたプロポーザル方式	3 件
	標準プロポーザル方式	件
	公募型総合評価落札方式	件
	簡易公募型総合評価落札方式	件
	簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件
意 見 ・ 質 問		回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等		別紙のとおり
委員による審議結果の内容	上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 竹富南航路船舶航行安全検討調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 過年度からの継続業務であるが、公募の工夫等による要件の緩和は図ったか。 ○ 過年度からプロポーザル方式としているが、要件緩和等による参入拡大を図った整理が必要である。 ○ 1者のみの参入であることから、発注方式を見直し複数年契約などにより参入を拡大する事はできないか。 ○ 競争性の担保を確保することによる公共サービスの向上を図ってもらいたい。 <p>2) 竹富南航路整備技術検討調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定テーマについて、「整備計画の策定」は過年度においても実施しているのではないか。 <p>3) 琉球石灰岩層を支持層とする港湾構造物基礎の設計・施工技術検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定テーマについて、「検討委員会における運営方針」の意図は何か。 ○ 業務実績の設定について、同種では「琉球石灰岩の地層を特定した基礎に関する技術検討」を設定しているが、類似では「土質に関する委員会運営」とした意図は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発保全航路の航行安全検討は漁業者との調整事項等特殊であり、類似業務実績において港湾区域内の水域施設に関する航行安全の実績まで広げ、競争参加資格要件を緩和した。 ・検討する。 ・検討する。 ・検討する。 <p>・今年度の「整備計画の策定」は、開発保全航路浚渫箇所の施工手順等詳細に行い、実施の上での環境保全チェックの観点で策定を行う。また、本業務はサンゴ礁海域の生態系の影響を考慮した整備計画を検討する業務であり、別件業務で実施される安全検討・施工検討の成果を統合し、計画を策定する業務である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種基準において、支持力式が規定されている。本業務の支持力評価手法の検討に当たっては、それら基準式との比較検討を行う必要があり、その実現のための運営方針(委員構成・選定)について技術提案を求めたものである。 ・主たる業務内容が、琉球石灰岩の評価手法の検討であることから、類似業務は競争参加資格要件の拡大を図るため、左記要件とした。